

< 第 5 議案 >

役員の改選について（案）

現役員全員が 2009 年 2 月 28 日をもって任期満了することに伴い、以下の通り、11 人の理事候補と 2 人の監事候補を提案する。定款第 10 条 1 項に定められた役員の数は、理事 7 名以上 12 名以内、監事 2 名である。11 人の理事候補、2 人の監事候補は全員再任である。

理事候補（50 音順）

小笠原公子、嘉指信雄、佐藤治、茂垣達也、芝野由和、首藤もと子、高原孝生、田巻一彦、道原海子、湯浅一郎、横山正樹

以上 11 名

監事候補（50 音順）

呉東正彦、山中悦子

以上 2 名

役員候補の紹介（50 音順）

小笠原公子（おがさわら きみこ）

日本キリスト教団神奈川教区核問題小委員会結成（1981 年）以降活動。1995 年以降、日本キリスト教協議会（NCC）平和・核問題委員会副委員長（1996 年～2006 年、委員長）として軍事基地、核政策、原発問題に関わり活動中。2002 年アジア平和連合設立に関わる。NCC 東アジアの和解と平和委員会委員。フェリス女学院大学ボランティアセンターコーディネーター。横浜市在住。

嘉指信雄（かざし のぶお）

広島市立大学国際学部助教授を経て、2001 年より神戸大学文学部教授（現代哲学、近代日本思想）。エール大学哲学博士。「NO DU（劣化ウラン兵器禁止）ヒロシマ・プロジェクト」代表。「核兵器廃絶をめざすヒロシマの会」運営委員。編著書に、『哲学の 21 世紀 ヒロシマからの第一歩』（広島平和文化センター）『西田哲学選集 第 5 巻、「歴史哲学論文集」（編・解説）』（燈影舎）など。広島市在住。

呉東正彦（ごとう まさひこ）

弁護士。「原子力空母の横須賀母港問題を考える市民の会」の共同代表。横浜弁護士人権擁護委員会基地部会委員。1989 年、「ネパの会」会員として米国家環境政策法（NEPA）違反を理由に在日米軍基地をはじめ米法廷に訴える訴訟に参加。1994 年、横須賀で呉東法律事務所を開設。横須賀市在住。

佐藤 治（さとう おさむ）

神奈川県高等学校教職員組合書記長。誕生より約 40 年横須賀ですごす。1994 年より同組合役員として平和運動を担当。神奈川平和運動センター幹事、いのくら基地部会幹事などを歴任。現在、高校生平和大使神奈川実行委員会事務局を担当。逗子市在住。

茂垣達也（しげがき たつや）

生協職員。1970 年代終盤の学生時代に平和活動に関わる。生協の平和活動担当を通して、核問題・被爆者問題・基地問題・平和学習などに取り組む。元生協労連中央委員、単組副委員長を経験。現在は COOP 商品開発に従事。東京都中野区在住。

芝野由和（しばの よしかず）

1990 年から長崎総合科学大学教員（長崎平和文化研究所運営主任）。専門はドイツ現代政治。刊行物に『ナガサキの平和学』（共著）、ライヒェル『ドイツ過去の克服』、バスティアン『アウシュヴィッツと アウシュヴィッツの嘘』（共訳）ほか。長崎市平和宣言文起草委員。核兵器

廃絶地球市民集会長崎実行委員。長崎市在住。

首藤もと子（しゅとう もとこ）

筑波大学教授（「アジアの国際関係」、「アジア政治」等担当）。日本平和学会、日本国際政治学会、アジア政経学会等の会員。アジア地域の開発、平和問題や労働移動などを研究。国内のNGO会員。インドネシアの研究機関、マレーシアのNGOの会員。茨城県つくば市在住。

高原孝生（たかはら たかお）

明治学院大学国際学部教員。（担当科目：国際政治学、平和学、軍縮研究）。日本平和学会理事。川崎市平和館の平和資料コーナーに協力。横浜市港南区在住。

田巻一彦（たまき かずひこ）

70年代から、神奈川での日韓連帯運動、反基地平和運動に加わる。「トマホークの配備を許すな全国運動」の発足に参画。「脱軍備ネットワーク・キャッチピース」の運営委員として「月刊キャッチピース」編集長（2006年まで）。2004年から『核兵器・核実験モニター』の共同編集責任者。2009年1月から同編集長。ピースデポ・イアブック編集長。横浜市港北区在住。

道原海子（みちはら かいこ）

1981年「戦争への道を許さない世田谷の女たちの会」「核と戦争をなくせ世田谷区民連絡会」結成、世話人。後13年間、生協理事の傍ら、「平和のための資料展」開催。現在「せたがや原水禁」副議長。2001年「北東アジアの非核地帯化をめざす全国ネットワーク」を立ち上げ、事務局担当。東京都世田谷区在住。

山中悦子（やまなか えつこ）

開発協力NGO（特活）草の根援助運動共同代表。神奈川県立保健福祉大学非常勤講師（「多文化理解」）。「すべての基地にNo!をファイト神奈川」、「WE21 ジャパン・平和チーム」に参加し、地域をベースに反核・平和運動に取り組む。横浜市在住。

湯浅一郎（ゆあさ いちろう）

「核兵器廃絶をめざすヒロシマの会」運営委員、環瀬戸内海会議顧問、ピースリンク広島・呉・岩国会員、芸南火電阻止連絡協議会。専門は海洋物理学、沿岸海洋環境学。著書に「平和都市ヒロシマを問う」「地球環境をこわす石炭火電」「科学の進歩とは何か」。東京都小金井市在住。

横山正樹（よこやま まさき）

フェリス学院大学国際交流学部教員。フィリピンを中心に、アジア太平洋地域の開発・環境問題に関する平和研究を続ける。著書・共編書に「フィリピン援助と自力更生論 - 構造的暴力の克服」、「新・平和学の現在」、「環境平和学 サブシステムの危機にどう立ち向かうか」ほか。日本平和学会理事。東京都杉並区在住。

< 補足説明 >

代表、副代表は、本日、選出される理事の互選により選任する。

話し合われている運営体制

代表： 湯浅一郎

副代表： 横山正樹、田巻一彦

特別顧問

08年、特別顧問に就任した梅林宏道は、同顧問を継続する。「核兵器・核実験モニター」の主筆、イアブックの監修者の仕事を継続するとともに、求められたときに可能な協力を行う。またピースデポのプロジェクトである「さい塾」、POC JAPANを主宰する。